

東芝デジタル複合機

e-BRIDGE Plus for Exchange Online 取扱説明書

©2018 - 2022 Toshiba Tec Corporation All rights reserved

本書は、著作権法により保護されており、東芝テック株式会社の承諾がない場合、本書のいかなる部分もその複写、複製を禁じます。





はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本書は、Microsoft社が提供するMicrosoft 365のサービス（Exchange Online）と連携し、e-BRIDGE Plus for Exchange Onlineをインストールした複合機からスキャンした原稿をメールに添付して送信したり下書きメッセージと一緒に保存する方法について説明します。お使いになる前に本書をよくお読みください。

■ 本書の読みかた

本文中の記号について

本書では、重要事項には以下の記号を付けて説明しています。これらの内容については必ずお読みください。

 警告	「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷*1を負う可能性があること」を示しています。
 注意	「誤った取り扱いをすると人が傷害*2を負う可能性、または物的損害*3のみが発生する可能性があること」を示しています。
 注意	操作するうえでご注意いただきたい事柄を示しています。
 補足	操作の参考となる事柄や、知っておいていただきたいことを示しています。
	関連事項を説明している参照先を示しています。必要に応じて参照してください。

*1 重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

*2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を指します。

*3 物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害を指します。

本書の対象読者について

本書は一般使用者（ユーザー）および機器管理者向けの取扱説明書です。

本文中の画面について

お使いの機種やオプション機器の装着状況、インストールしているアプリケーションによっては、表示される画面が異なることがあります。

本文中の記載名称について

本書では、両面同時原稿送り装置と自動両面原稿送り装置を、どちらも「自動原稿送り装置」と記述して説明しています。

商標について

本書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標である場合があります。

e-BRIDGE Plus for Exchange Onlineを使用する

e-BRIDGE Plus for Exchange Onlineのセットアップと使い方を説明します。

このアプリケーションについて	6
注意点について	6
管理者への説明	6
ユーザーへの説明	7
このアプリケーションを使用できるように準備する	8
このアプリケーションをインストールする	8
このアプリケーションの起動時の認証を設定する	10
アプリケーション設定を変更する	11
操作パネルのホーム画面にこのアプリケーションを登録する	12
操作パネルからこのアプリケーションを使用する	14
Exchange Onlineにサインインする	14
原稿をスキャンしてメール送信する	18
アプリケーションを終了する	26
困ったときは	27

このアプリケーションについて

e-BRIDGE Plus for Exchange Online（本書では以降「このアプリケーション」と称します）は、弊社のデジタル複合機（本書では「本機」と称します）にインストールして利用するアプリケーションです。Microsoft社が提供するMicrosoft 365サービス（Exchange Online）を利用できるアカウントを持つユーザーは、本機の実操作パネルからこのアプリケーションを起動してサービスを利用できます。

- 原稿をスキャンし、メールに添付してExchange Online経由で送信する
- 原稿をスキャンし、下書きメールに添付してExchange Onlineに保存する

注意

お使いのMicrosoft 365アカウント（Microsoft社との契約）によって利用できるサービスは異なります。サービスとその機能の詳細については、Microsoft社が提供する情報やヘルプを参照してください。

■ 注意点について

- Exchange Onlineを使用するには、Microsoft 365アカウントが必要です。
- このアプリケーションは、本機にインストールしてクラウドサービス（Exchange Online）と接続します。プロキシサーバー接続などのネットワーク環境の設定を確認してください。
- 本機の時計を正しい時刻に設定する必要があります。時刻が正しくないと証明書の検証に失敗してネットワークに接続できない場合があります。
- このアプリケーションの利用を中止する場合は、安全のためクラウドサービス側で、このアプリケーションへの利用許可を削除してください。
- このアプリケーションから受信したEメールに記載されているPINコードを、他者へ共有または公開しないでください。
- このアプリケーションは、Microsoft 365用の職場または学校のアカウント以外ではご利用になれません。

■ 管理者への説明

管理者は、以下の項目を確認してからこのアプリケーションをセットアップしてください。準備やセットアップはTopAccessを使用します。設定画面の詳しい操作方法は、**TopAccessガイド/ TopAccess**を参照してください。

□ チェックポイント

管理者は以下の点を確認してください。

- このアプリケーションは、本機にインストールしてクラウドサービス（Exchange Online）と接続します。ご利用時にこのアプリケーションとクラウドサービスとの接続について利用許可をしていただく必要があります。
- このアプリケーションを使用できる複合機（機種）である必要があります。
- このアプリケーションを試用期間後も継続して使用するには、ライセンスを有効化する必要があります。
- スキャンした文字を認識するには、本機にOCRオプション（ライセンス）がインストールされている必要があります。
- 本機はインターネットに接続されている必要があります。
- ユーザー認証または部門認証が必要な場合は、TopAccessで設定する必要があります。
- TopAccessで [ローカルストレージデバイスへ保存] または [ローカルHDDへ保存] を有効にする必要があります。
- ユーザーには [スキャン機能] および [ローカル保存] を利用できる権限のあるロールをTopAccessから割り当てる必要があります（制限を設けていない限り、ユーザーは通常これらの権限を有します）。
- 2次元コードを読み取ってクラウドサービスにサインインするためには、ご利用の環境で以下のサイトにアクセスできるようにする必要があります。

login.ecl.toshiba-solutions.com

api.login.ecl.toshiba-solutions.com

また、利用を開始する前に、以下のページにアクセスできることを確認してください。

<https://login.ecl.toshiba-solutions.com/test>

- Eメールを使ってクラウドサービスにサインインするためには、以下を設定する必要があります。
 - TopAccessで[Eメール送信]を有効にしてください。また、Eメール設定で[送信者アドレス]を設定し、[件名変更]および[本文送信]を有効にしてください。
 - 本機のユーザー認証および機能別ユーザー認証設定が有効で、アプリケーションの起動時の認証が無効の場合、機能別ユーザー認証の[スキャン]を無効にしてください。
- このアプリケーションは、クラウドサービスへの接続時に、TopAccessのプロキシ設定に入力したアカウントIDとパスワードを使用します。

□ セットアップ

ユーザーがこのアプリケーションを本機で利用できるように、管理者はTopAccessを使ってあらかじめ準備する必要があります。本書は以下のセットアップ手順を説明します。管理者は以下の各説明を順にお読みいただき、このアプリケーションをセットアップしてください。

1. このアプリケーションを本機にインストールします。
📖 P.8 「このアプリケーションをインストールする」
2. このアプリケーションの起動時に、認証するかどうかを設定します。
📖 P.10 「このアプリケーションの起動時の認証を設定する」
3. このアプリケーションのログイン方法など、アプリケーション設定を変更します。
📖 P.11 「アプリケーション設定を変更する」
4. ユーザーが操作パネルからMicrosoft 365サービス（Exchange Online）にサインインできるように、ホーム画面にこのアプリケーションを登録します。
📖 P.12 「操作パネルのホーム画面にこのアプリケーションを登録する」
5. Exchange Onlineの管理者が必ず初回のサインイン時に同意して、ユーザーがこのアプリケーションからMicrosoft 365サービス（Exchange Online）を利用できるようにします。
📖 P.14 「Exchange Onlineにサインインする」

管理者もユーザーとしてこのアプリケーションを使用することができます。次のユーザー向け操作手順もお読みください。

■ ユーザーへの説明

このアプリケーションを使用するには、以下を参照してください。

- 本機の操作パネルからMicrosoft 365サービス（Exchange Online）にサインインする方法は、本書の以下を参照してください。
📖 P.14 「Exchange Onlineにサインインする」
- Exchange Onlineサービスを利用して、スキャンした原稿をメールに添付して送信したり添付したまま下書きメールを保存する方法は、本書の以下を参照してください。
📖 P.18 「原稿をスキャンしてメール送信する」
- トラブルが発生した場合は、本書の以下を参照してください。
📖 P.27 「困ったときは」

このアプリケーションを使用できるように準備する

管理者は、以下の手順に従ってこのアプリケーションをセットアップしてください。

■ このアプリケーションをインストールする

本機のTopAccessからこのアプリケーションをインストールします。

注意

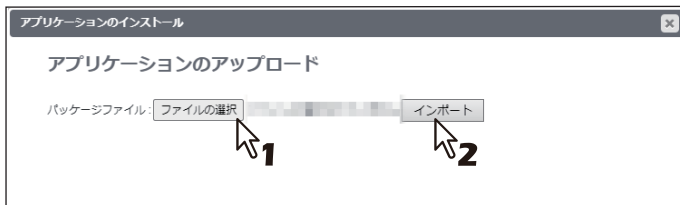
アプリケーションをインストールするには、管理者権限でTopAccessにログインする必要があります。TopAccessの操作方法については、**TopAccessガイド/TopAccess**を参照してください。

- 1 TopAccessを起動して、管理者としてログインします。
- 2 [管理者] > [アプリケーション] > [アプリケーションリスト] をクリックして [アプリケーションリスト] を開き、[インストール] をクリックします。

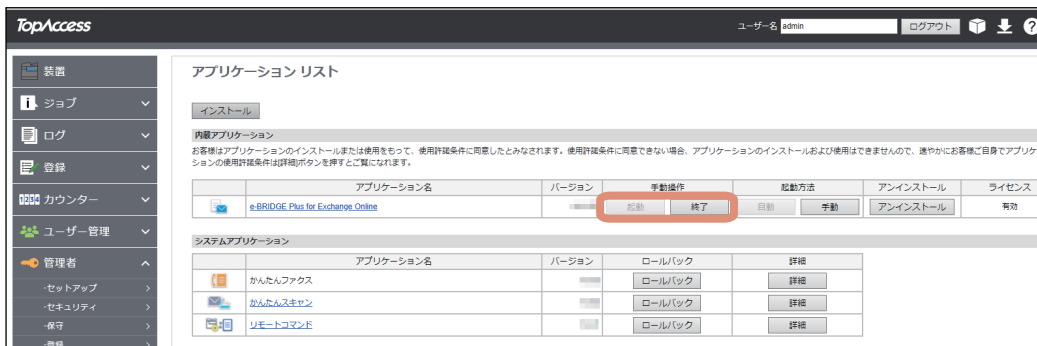


- 3 [ファイルの選択*] をクリックしてe-BRIDGE Plus for Exchange Onlineのインストールファイルを選択し、[インポート] をクリックしたら画面の指示に従ってインストールします。

* [ファイルの選択] のボタン名称は、ブラウザによって異なります。



- 4 このアプリケーションが起動していることを確認します（[起動] が薄く見えます）。



注意

クラウドサービスにサインインするためには、このアプリケーションが起動している必要があります。
[終了] を選択すると、サインインできません。

補足

[アプリケーションリスト] に登録したこのアプリケーションに対して、以下のボタンを操作できます。

- [終了] をクリックすると、このアプリケーションは終了します。
- [自動] をクリックすると、このアプリケーションは自動的に起動します。常に手動で起動するには、[手動] をクリックします。
- [アンインストール] を選択すると、このアプリケーションを本機から削除できます。
- [詳細] を選択すると、このアプリケーションの詳細情報を確認できます。

■ このアプリケーションの起動時の認証を設定する

このアプリケーションの起動時に認証するかどうかを、本機のTopAccessから設定します。

注意

認証を設定するには、管理者権限でTopAccessにログインする必要があります。TopAccessの操作方法については、**TopAccessガイド/ TopAccess**を参照してください。

- 1 **TopAccess**を起動して、管理者としてログインします。
- 2 [管理者] > [アプリケーション] > [アプリケーションリスト] をクリックして [アプリケーションリスト] を開き、[e-BRIDGE Plus for Exchange Online] の [詳細] をクリックします。



- 3 [認証] から [有効] または [無効] を選択します。

- **有効**：操作パネルのホーム画面からこのアプリケーションを起動するたびに、部門またはユーザー認証が必要です。
- **無効**：[部門管理設定] や [ユーザー認証設定] の [スキャン] が有効な場合は、このアプリケーションからスキャン操作を実行する際に認証が必要です。各機能の認証が無効に設定されている場合は、認証は必要ありません。

注意

各機能の認証設定方法については、**TopAccessガイド/ TopAccess**を参照してください。



- 4 [保存] をクリックします。
[キャンセル] をクリックすると、設定を変更しないで [アプリケーション詳細] 画面を閉じます。

■ アプリケーション設定を変更する

必要に応じて、このアプリケーションの設定を変更します。クラウドサービスにサインインするアカウントや、2次元コードの表示時間を設定します。また、接続テストを実行できます。

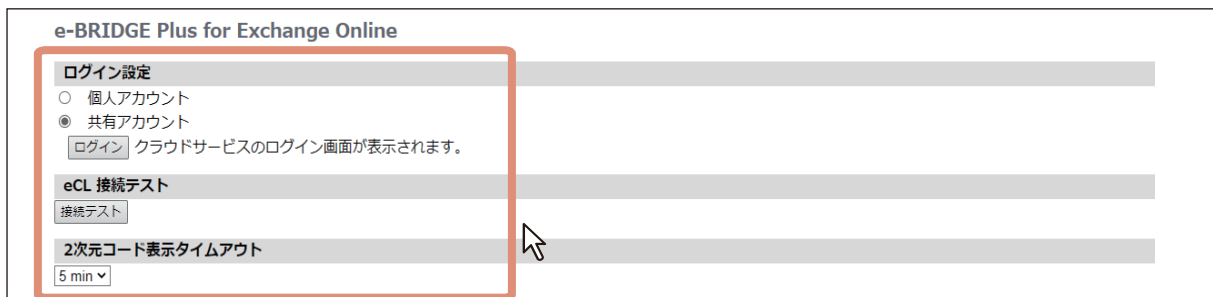
注意

アプリケーション設定を変更するには、管理者権限でTopAccessにログインする必要があります。TopAccessの操作方法については、**TopAccessガイド/ TopAccess**を参照してください。

- 1 TopAccessを起動して、管理者としてログインします。
- 2 [管理者] > [アプリケーション] > [アプリケーションリスト] をクリックして [アプリケーションリスト] を開き、[e-BRIDGE Plus for Exchange Online] をクリックします。



- 3 各項目を設定します。
[ログイン設定] の [個人アカウント] または [共有アカウント] は、どちらかを選択します。



- **ログイン設定**
 - **個人アカウント**
ユーザーごとに、個人のアカウントでログインできます。
 - **共有アカウント**
ユーザーは、共有アカウントでログインできます。[ログイン] をクリックして、このアプリケーションで使用する共有アカウントを登録してください。登録が完了すると、共有アカウントのアカウント名が表示されます。
- **eCL 接続テスト**
[接続テスト] をクリックすると、クラウドサービスにサインインするためのサーバー（e-BRIDGE Cloud Login）に接続できるかテストします。
- **2次元コード表示タイムアウト**
[ログイン] 画面に表示される2次元コードの表示時間を変更できます。

- 4 [保存] をクリックします。

注意

設定に問題がある場合はメッセージが表示されます。設定を訂正してから再度 [保存] をクリックしてください。

- 5 確認画面で [OK] をクリックします。
[キャンセル] をクリックすると、設定を中止します。

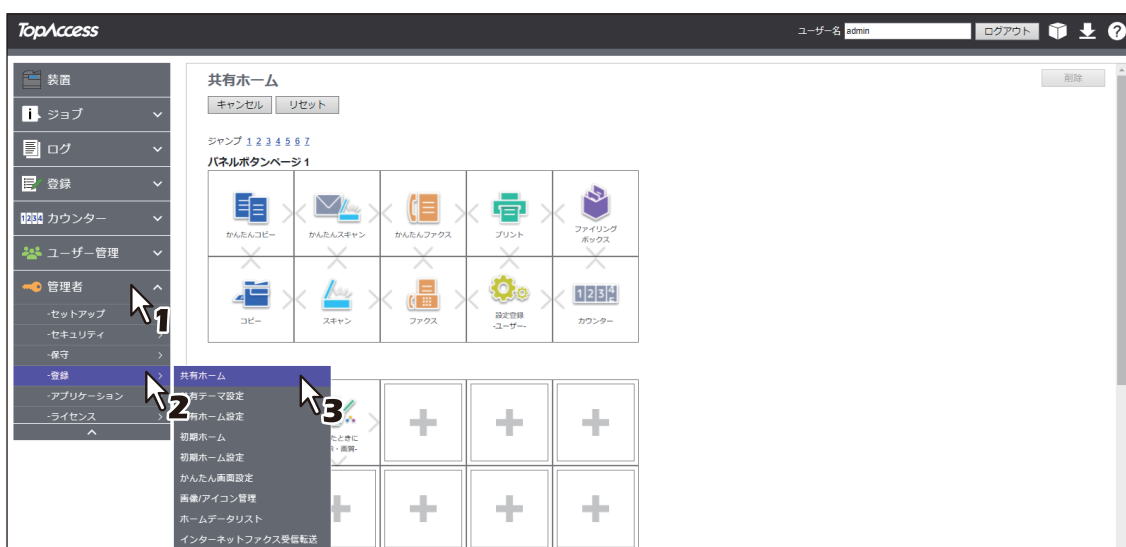
■ 操作パネルのホーム画面にこのアプリケーションを登録する

本機のTopAccessまたは操作パネルからこのアプリケーションを登録して、操作パネルのホーム画面からExchange Onlineサービスを利用することができます。本書では、TopAccessからの登録方法を説明します。詳しくは、**TopAccessガイド/ TopAccess**または**かんたん操作ガイド/ 基本操作**を参照してください。

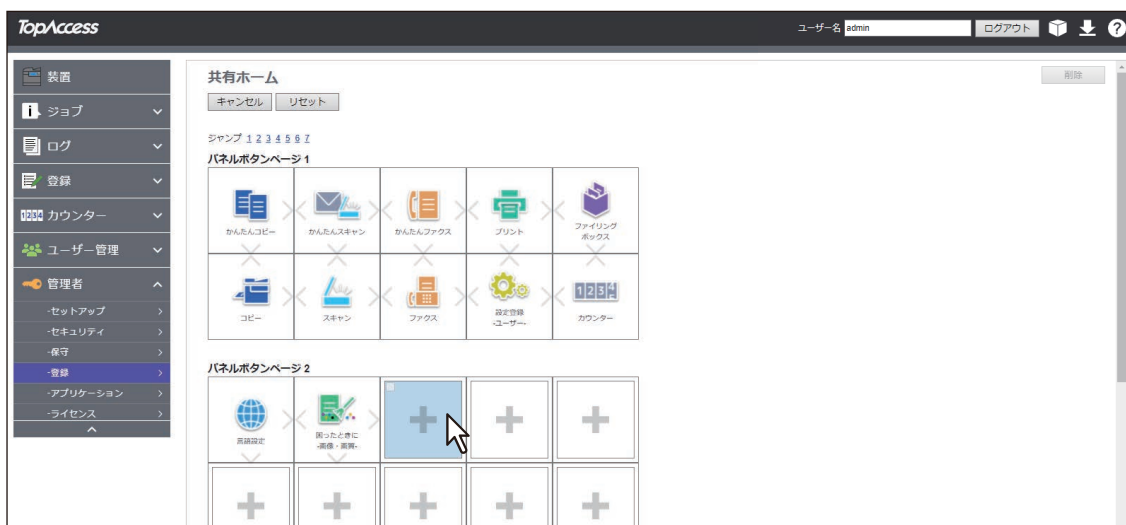
注意

TopAccessの [登録] メニューにアクセスするには、管理者権限でログインする必要があります。TopAccessの操作方法については、**TopAccessガイド/ TopAccess**を参照してください。

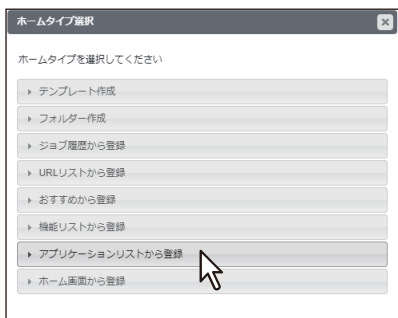
- 1 TopAccessを起動して、管理者としてログインします。
- 2 [管理者] > [登録] > [共有ホーム] をクリックします。



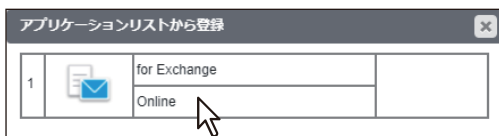
- 3 このアプリケーションを登録したいパネルボタン位置まで移動して、リンクをクリックします。
[ジャンプ] の番号をクリックすると、その位置を含むリストへ直接移動します。



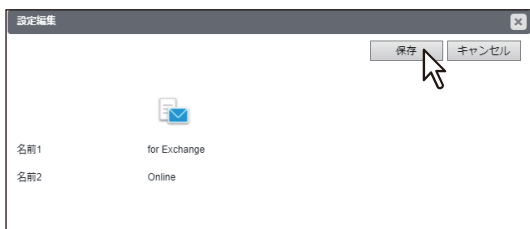
4 [ホームタイプ選択] 画面から [アプリケーションリストから登録] をクリックします。



5 [アプリケーションリストから登録] 画面から [e-BRIDGE Plus for Exchange Online] をクリックします。



6 [設定編集] 画面で [保存] をクリックします。
[キャンセル] をクリックすると、登録せずに [設定編集] 画面を閉じます。




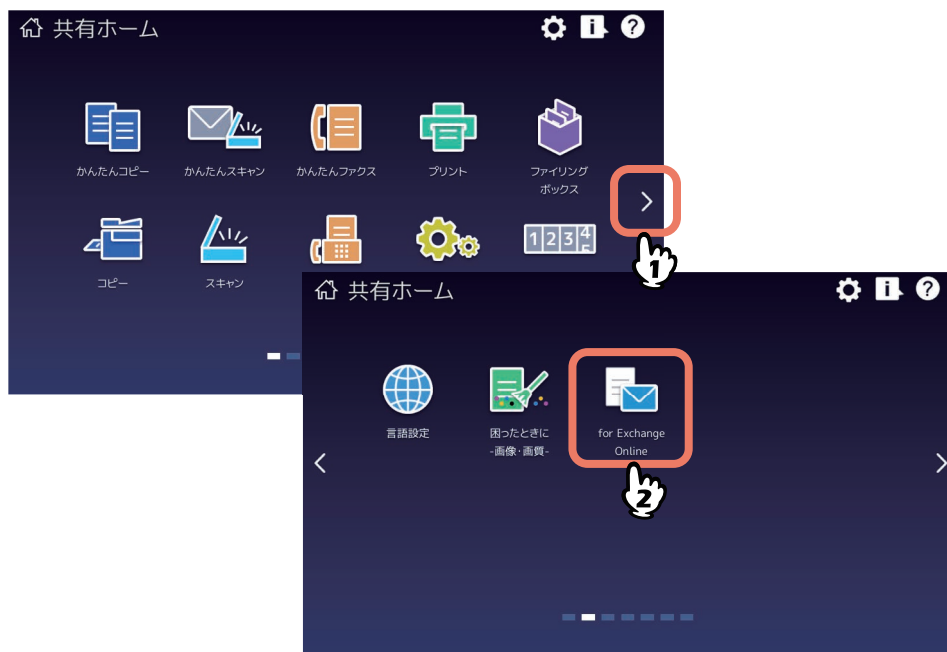
操作パネルからこのアプリケーションを使用する

本機の操作パネルから、Exchange Onlineを利用することができます。

■ Exchange Onlineにサインインする

操作パネルのホーム画面に登録したこのアプリケーションからExchange Onlineにサインインできます。

- 1 操作パネルの  ([ホーム] ボタン) を押します。
- 2 このアプリケーションのアイコンを探して押します。



- 3 [部門コード] または [ユーザー認証] 画面が表示される場合は、部門コードまたはユーザー名・パスワードを入力して [OK] を押します。

TopAccessやこのアプリケーションで認証を必要としない設定にされている場合は、認証画面は表示されません。そのまま次へ進みます。

注意

TopAccessやこのアプリケーションの認証設定によって、認証画面が表示されるタイミングが異なります。このアプリケーションの起動後、スキャンする際に認証を求められる場合があります。詳しくは、管理者にお尋ねください。

- 4 [お知らせ] 画面のメッセージを読んで、[管理者によるアクセス許可] または [OK] を押します。

- Exchange Onlineの管理者は、このアプリケーションを最初に起動して、ユーザーがExchange Onlineにアクセスできるよう許可する必要があります。以下の「管理者が初めてこのアプリケーションを起動する場合」の操作をしてください。
- ユーザー（管理者を含む）は、Exchange Onlineの管理者によるアクセス許可を確認してから、「ユーザーがExchange Onlineの管理者によるアクセス許可を確認している場合」の操作をしてください。

管理者が初めてこのアプリケーションを起動する場合

注意

必ずExchange Onlineの管理者が以下の操作をしてください。

1. [お知らせ] 画面のメッセージを読んで、[管理者によるアクセス許可] を押します。




2. メッセージを読んで、[OK] を押します。
3. Exchange Onlineの管理者アカウントとパスワードを入力して、サービスへサインインします。
4. メッセージを読んで、[承諾] を押します。
5. 同じ [お知らせ] 画面が表示されたら、[OK] を押します。

補足

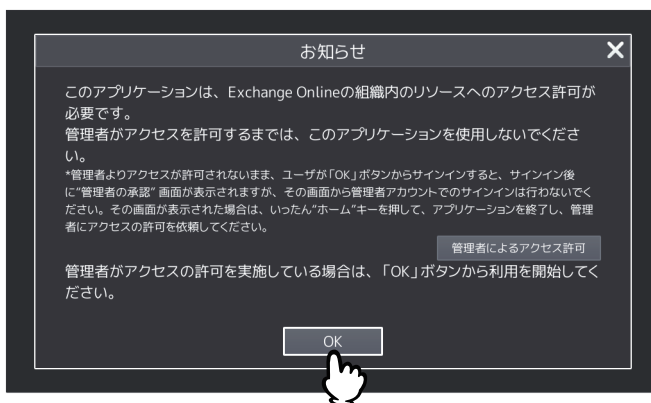
- 上記2から4の手順と画面は、Microsoft社によって変更される場合があります。
- このアプリケーションを複数のデバイスで使用する場合は、1台のデバイスで上記の操作を1回行います。すべてのデバイスで、同じ操作をする必要はありません。
- [承諾] を押した後は、管理者もユーザーと同じ手順で操作できます。

ユーザーがExchange Onlineの管理者によるアクセス許可を確認している場合

注意

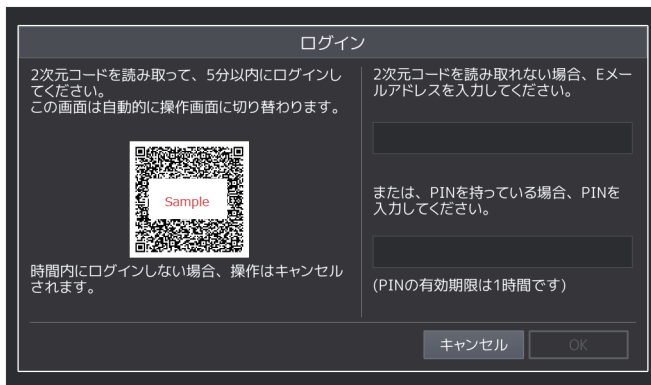
Exchange Onlineの管理者がアクセスを許可しているか不明な場合は、操作パネルの  ([ホーム] ボタン) を押してこのアプリケーションを終了し、Exchange Onlineの管理者にお尋ねください。

[お知らせ] 画面のメッセージを読んで [OK] を押します。




5 [ログイン] 画面が表示されたら、サインインします。

[キャンセル] を押すと、このアプリケーションを終了します。



注意

- サインイン画面を正しく表示させるため、ブラウザのJavaScript設定を有効にしてください。
- 手順4でExchange Onlineの管理者によるアクセス許可が済んでいないままユーザーがサインインすると、[管理者の承認が必要]画面が表示されます。
[管理者の承認が必要]画面からExchange Onlineの管理者アカウントでサインインしないでください。
操作パネルの  ([ホーム] ボタン) を押してこのアプリケーションを終了し、Exchange Onlineの管理者にアクセス許可を依頼してください。
[管理者の承認が必要]画面でユーザーがExchange Onlineの管理者アカウントでサインインしてしまった場合は、そのユーザーは以下のとおりExchange Onlineの管理者として扱われます。次の手順6でただちにサインアウトして、サインインユーザーを切り替えてください。
 - 送信メールの"From"アドレスが、管理者のメールアドレスになります。
 - 下書きメールは管理者の下書きフォルダーに保存されます。
 - 管理者のメールアドレス/ディスプレイネームが、パネル上に表示されます。
 - 宛先検索時に、管理者が利用した宛先が表示されます。
 - 宛先検索時に、管理者のメールアドレス帳から宛先が検索されます。
 - 管理者による承認がされていない状態でも、組織全体から宛先が検索されます。

補足

本機の [ユーザー認証] を [有効] にしている場合は、ユーザーが前回認証に成功したアカウントを使用して自動的にサインインを行うためサインイン操作は必要ありません。ただし、ビルトインユーザーでログインする場合は、毎回サインイン操作が必要です。

2次元コードを読み取ってサインインする手順

- 操作パネルに表示された2次元コードをモバイル端末などで読み取り、サインイン画面を表示します。
- クラウドサービスのアカウントとパスワードを入力して、[サインイン] を押します。

Eメールを使ってサインインする手順

補足

- Eメールの送信者名は、本機の [Eメール設定] に従います。
 - TopAccessで [管理者] > [セットアップ] > [Eメール] > [一般設定] > [本文送信] が無効に設定されている場合、Eメールを使ってサインインできません。
また、[件名変更] が無効に設定されている場合、Eメールの [件名] は、複合機側のTopAccessで設定したEメールの件名が表示されます。[件名変更] が有効に設定されている場合、件名は「東芝 MFP：クラウドサービスにログインしてください」と表示されます。
1. 操作パネルの入力欄に、Eメールアドレスを入力します。アプリケーションからEメールが送信されます。
 2. Eメールに記載されたURLをクリックして、サインイン画面を表示します。
 3. クラウドサービスのアカウントとパスワードを入力して、[サインイン] を押します。
 4. 本機の [ユーザー認証] を [無効] にしている場合または、ビルトインユーザーでログインする場合は、PINコードが発行されます。サインイン後にアプリケーションを起動して、Eメールに記載されたPINコードを操作パネルの入力欄に入力してください。

6 [Exchange Online] 画面が操作パネルに表示されていることを確認します。

- Exchange Onlineを利用するには以下へ進みます。
📖 P.18 「原稿をスキャンしてメール送信する」
- 画面右上のユーザー名（またはアカウント名）を押すと、サインインしているユーザーを切り替えることができます。確認画面で [はい] を押します。

補足

- ユーザーの切り替えを同一の端末で行う場合は、その端末のブラウザーにて、事前にサインインできることをご確認ください。
- 操作を中止するには、確認画面で [いいえ] または [X] を押します。



■ 原稿をスキャンしてメール送信する

本機の操作パネルに登録したこのアプリケーションから [Exchange Online] 画面を開いて、本機でスキャンした原稿をメールに添付して送信したり、下書きメールと一緒に保存することができます。

□ メール送信、下書き保存手順

注意

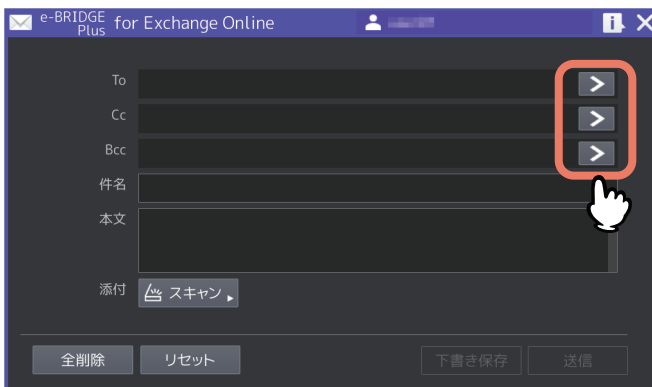
原稿をスキャンしてメールに添付できます。

- 1つのメールに添付できる1ファイルのサイズが3MB以上になると、送信に失敗する場合があります。
- 1つのメールに最大100ファイルまで添付できます。
- 添付ファイルの総サイズが大きい場合は、添付できない場合があります。

1 操作パネルからこのアプリケーションを起動して、[Exchange Online] 画面を開きます。

📖 P.14 「Exchange Onlineにサインインする」

2 [To]、[Cc] または [Bcc] の [>] を押して、[アドレス選択] 画面を開きます。



3 宛先を指定します。



- [To]、[Cc]、[Bcc] を押すと、宛先画面が切り替わります。

- [直接入力] を押すと [Eメールアドレス入力] 画面が表示されます。
 - アドレス帳に登録されているEメールアドレスから、入力値に合う候補が最大10個まで表示されます。候補のEメールアドレスを選択するとアドレス入力欄に反映されます。
 - 入力欄を押すとキーボードが表示します。Eメールアドレス形式の文字列（最大192文字）を入力して、[OK] を押します。
 - [OK] を押すと宛先として登録します。[キャンセル] を押すと入力を中止します。

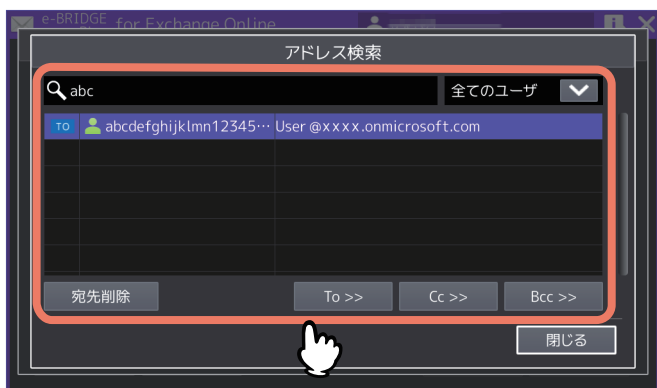


- [検索] を押すと [アドレス検索] 画面が表示されます。Exchange Onlineのアドレス帳を検索できます。
 - 検索対象として [全てのユーザ] または [個人の連絡先] を選択します。[全てのユーザ] を選択すると、サインインユーザーと同じ組織アカウント内の連絡先から検索します。[個人の連絡先] を選択すると、サインインユーザーが登録した連絡先から検索します。
 - 検索欄に姓、名、またはメールアドレス（最大32文字）を入力して [OK] を押すと、検索の結果がリストに表示されます。すでに指定されている宛先は、[TO]、[CC]、[BCC] アイコンを付けて表示されます。

注意

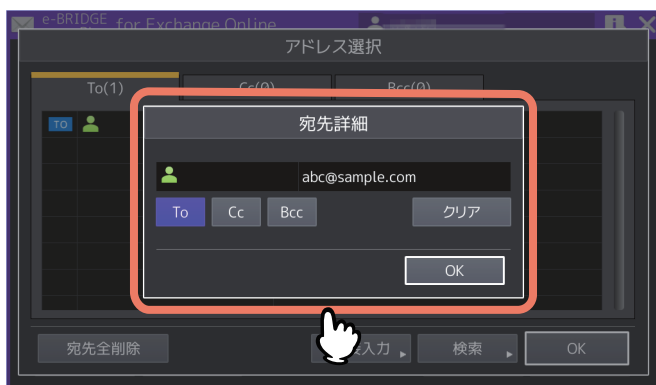
[個人の連絡先] を選択している場合は、メールアドレスで検索できません。ディスプレイネームで検索してください。

- リストに表示された未指定の宛先を押して、[To >>]、[Cc >>] または [Bcc >>] を押します。宛先は複数件同時に選択することができます。
- すでに宛先として設定している連絡先を選択して [宛先削除] を押すと、選択した連絡先がメールの宛先から削除されます。
- [閉じる] を押します。



- [宛先全削除] を押すと、指定したすべての連絡先を宛先から削除します。

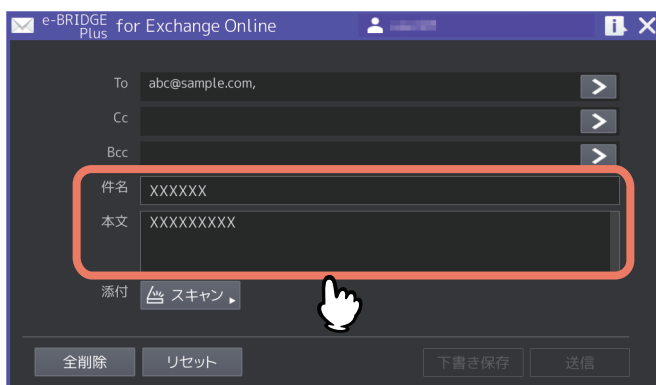
- リストに表示されている宛先を押すと、[宛先詳細] 画面が開きます。以下の操作後に、[OK] を押して画面を閉じます。
 - [To]、[Cc]、[Bcc] を押してから [OK] を押すと、宛先の種類を変更できます。
 - [クリア] を押すと、その連絡先を宛先から削除します。



4 宛先を確認したら [OK] を押します。

5 [件名] の入力欄を押してメールタイトルを入力し、[本文] の入力欄を押してメッセージを入力します。

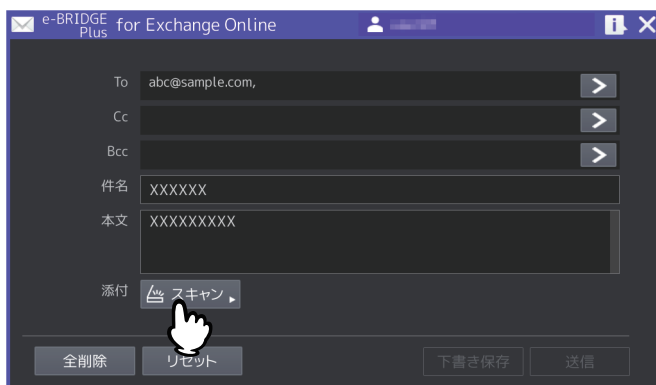
- 入力欄を押すとキーボードが表示されます。
- [件名] には最大128文字まで入力できます。
- [本文] には最大1,000文字まで入力できます。



6 原稿を原稿ガラスまたは自動原稿送り装置にセットします。

原稿のセットのしかたについては、[用紙準備ガイド](#)/ [用紙の準備](#)を参照してください。

7 [スキャン] を押します。



8 スキャン設定を選択して、[スタート]（または操作パネルの [スタート] ボタン）を押します。

- 画面とスキャン設定の詳細については、以下を参照してください。
📖 P.24 「[スキャン設定] 画面」
- [キャンセル] を押すと、スキャン操作を中止します。
- [リセット]（または操作パネルの [リセット] ボタン）を押すと、変更した設定が初期値に戻ります。



9 スキャンが終了するまで待ちます。

- 原稿ガラスにページをセットした場合は、[スキャン中] 画面が表示されるまで待ちます。
 - 続けて複数ページをスキャンするには、手順10へ進みます。
 - 1ページだけスキャンして終了するには、手順12へ進みます。
- 自動原稿送り装置に原稿をセットした場合
 - [プレビュー] を [ON] にしている場合は、手順10へ進みます。
 - [プレビュー] を [OFF] にしている場合に、続けて別の原稿を自動原稿送り装置にセットしてスキャンする場合は、スキャン中に [継続] を押して手順10へ進みます。

補足

自動原稿送り装置を使用中にスキャン操作を中止したい場合は、[ストップ] を押します。

10 次ページを原稿ガラスにセットしたら、[スタート]（または操作パネルの [スタート] ボタン）を押します。

- [プレビュー] を [ON] にしている場合は、スキャンしたページのプレビュー画面を表示します。
- [ジョブ削除] を押すと、スキャン操作を中止してジョブを削除できます。確認画面が表示されたら、[はい] を押してジョブを削除するか、[いいえ] を押してジョブ削除操作を終了します。



11 最後のページをスキャンし終えるまで、上記手順9と10を繰り返します。

12 スキャンが終了したら【読み込み終了】を押します。

【プレビュー】を【ON】にしている場合は、スキャンしたページのプレビュー画面を表示します。

- 【<】または【>】を押すと、プレビューページを切り替えます。
- プレビューページを押すと、そのページが拡大表示されます。【ページ削除】を押すと、そのページを削除します。確認画面が表示されたら、【はい】を押してページを削除するか、【いいえ】を押して削除操作を中止します。拡大を終了するには、その拡大プレビューページを再度押します。
- 【ジョブ削除】を押すと、プレビュー表示しているジョブを削除します。確認画面が表示されたら、【はい】を押してジョブを削除するか、【いいえ】を押して削除操作を中止します。
- プレビューしているページを削除する場合は、【編集】を押して削除したいページの【✕】を押してください。ただし、【✕】は、1ページだけプレビューされている場合は表示されません。
- プレビューしているページのページ順序を変えたい場合は、【編集】を押して【<】または【>】を押してください。
- PDFファイルをプレビューしている場合は、ページを回転させることができます。【編集】を押して、回転させたいページの【C】を押してください。【C】を押すごとに時計回りに90度回転します。

13 後処理が終了するまで待ちます。

- スキャンした原稿をファイルとして作成する処理が続きます。
- OCRで読み取るPDFファイルフォーマットを選択した場合は、OCR処理が続きます。
- 処理中に【ジョブ削除】を押すと、処理を中止して【スキャン設定】画面へ戻ります。

補足

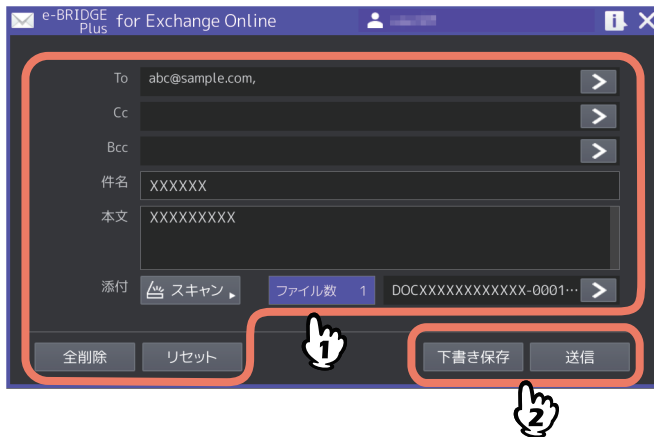
【白紙ページ除去】を【ON】にしている場合は確認画面が表示されます。【OK】を押して画面を閉じると、5秒後に自動的に画面が閉じるまで待ちます。

14 別の原稿をスキャンして添付するには手順6から13を繰り返します。

15 スキャンが終了したら宛先と添付ファイルを確認して、【送信】または【下書き保存】を押します。

- 【To】、【Cc】または【Bcc】の【>】を押すと、【アドレス選択】画面が開いて確認できます。確認後、【OK】を押して画面を閉じます。
- 【スキャン】の右隣にある添付ファイルリストの【>】を押すと【添付ファイル】画面が開き、スキャンした添付ファイルを確認できます。削除したいファイルがある場合は、そのファイルを押して（複数ファイルを選択できます）、【削除】を押します。確認画面が表示されたら、【はい】を押してファイルを削除するか、【いいえ】を押して削除操作を中止します。
- 【全削除】を押すと、すべての設定と添付ファイルを削除することができます。確認画面が表示されたら、【はい】を押して設定を削除するか、【いいえ】を押して削除操作を中止します。

- [リセット] を押すと、宛先と添付ファイルを削除し、[件名] と [本文] を初期状態に戻すことができます。確認画面が表示されたら、[はい] を押して設定をリセットするか、[いいえ] を押してリセット操作を中止します。

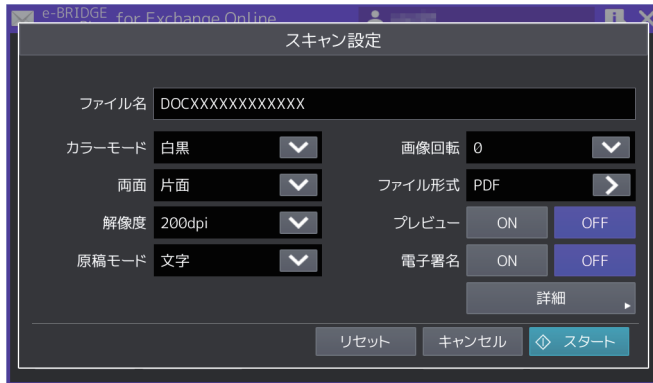


補足

- [お知らせ] 画面が表示された場合は、[閉じる] を押して画面を閉じるか、2秒後に自動的に画面が閉じるまで待ちます。
- 保存した下書きメールを編集して送信するには、WebブラウザからExchange Onlineにサインインしてメールを探してください。
- 必要に応じて手順2へ戻り、別のメールを送信したり下書き保存することができます。

□ **【スキャン設定】 画面**

このアプリケーションの [スキャン設定] 画面では、以下の設定を選択できます。



補 足

お使いの機種によっては、原稿ガラスでスキャンする場合の原稿サイズが表示されます。原稿サイズについては、[設定管理ガイド/設定/登録](#)を参照ください。

ファイル名

ファイル名を表示します。入力欄を押して、表示されるキーボードでファイル名を変更することができます。最大128文字まで入力できます (\ / : * ? " < > | を除く)。

注 意

スペースとファイル名末尾のピリオドは、アンダースコアに変換されます。

カラーモード

スキャンカラー（白黒、グレースケール、フルカラー、自動カラー選択）を選択します。

両面

両面スキャン（片面、両面（左/右とじ）、両面（上/下とじ））を選択します。

解像度

解像度（100、150、200、300、400、600dpi）を選択します。

原稿モード

原稿モード（文字、文字/写真、写真、ブルー原稿*）を選択します。

*Loops LP35/LP45/LP50をご使用の場合に選択できます。

画像回転

回転する角度（0、90、180、270）を選択します。

ファイル形式

[>] を押すと選択画面が開きますので、ファイルフォーマット（PDF、セキュアPDF、高圧縮PDF、PDF/A、PDF（OCR）、セキュアPDF（OCR）、高圧縮PDF（OCR）、PDF/A（OCR）、JPEG、TIFF（シングル）、TIFF（マルチ）、DOCX、XLSX、PPTX）を選択します。[セキュアPDF] または [セキュアPDF（OCR）] を選択すると、後述の [詳細設定] 画面で [セキュアPDF設定] を設定する必要があります。

注意

PDF (OCR)、セキュアPDF (OCR)、高圧縮PDF (OCR)、PDF/A (OCR)、DOCX、XLSX、PPTXファイル形式を選択して文字をOCR機能で読み取るには、OCRオプションが必要です。OCRオプションについての説明は、[スキャンガイド/スキャン](#)を参照してください。

プレビュー

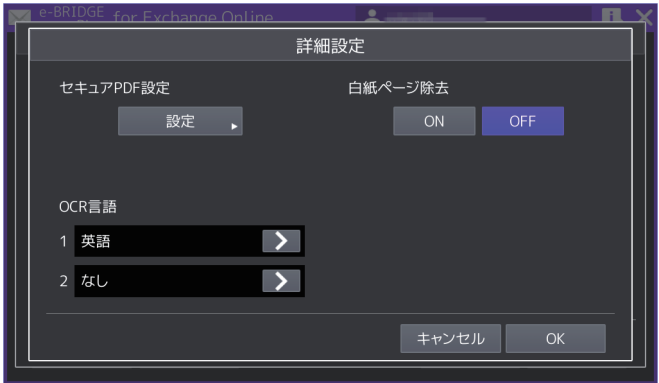
スキャンしたページをプレビューする場合は、[ON] を選択します。

電子署名

PDFファイルに電子署名を付加する場合は、[ON] を選択します。お使いの機種により、この機能は設定できません。

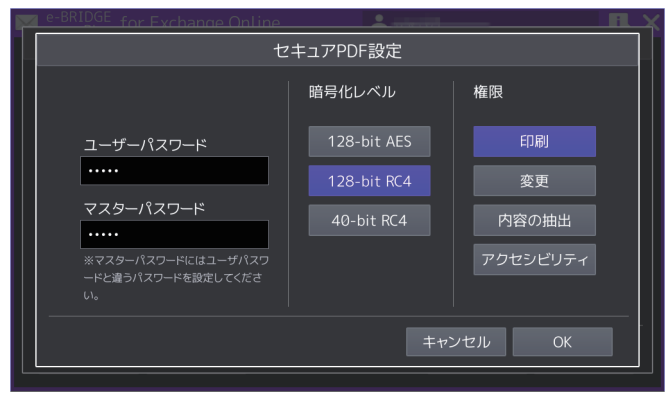
詳細

[詳細] を押すと、[詳細設定] 画面が開きます。以下の詳細設定を変更して [OK] を押します。[キャンセル] を押すと、設定変更を中止します。



- セキュアPDF設定

[ファイル形式] から [セキュアPDF] または [セキュアPDF (OCR)] を選択した場合は、[設定] を押して [セキュアPDF設定] 画面を開きます。暗号化の方法を設定して [OK] を押します。[キャンセル] を押すと、設定変更を中止します。



- ユーザーパスワード
暗号化されたPDFを開くためのパスワードを入力します。入力欄を押すとキーボードが表示されます。32文字まで入力できます。
- マスターパスワード
暗号化レベルや権限付与などの暗号化設定を変更するためのマスターパスワードを入力します。入力欄を押すとキーボードが表示されます。32文字まで入力できます。

注意

PDFを暗号化するには、[ユーザーパスワード] または [マスターパスワード] のどちらかを必ず設定してください。両方設定する場合は、異なるパスワードを設定してください。

- 暗号化レベル

暗号化レベルを選択します。

128-bit AES - Acrobat 7.0, PDF V1.6に互換性のある暗号化レベルを設定します。

128-bit RC4 - Acrobat 5.0, PDF V1.4に互換性のある暗号化レベルを設定します。

40-bit RC4 - Acrobat 3.0, PDF V1.1に互換性のある暗号化レベルを設定します。

- 権限

PDFの操作権限を選択します。ボタンを押して青色にすると、以下の操作が許可されます。ボタンを押して黒色にすると、操作が制限されます。

印刷 - 暗号化PDFファイルの印刷

変更 - 暗号化PDFファイルの変更

内容の抽出 - 暗号化PDFファイルの内容をコピー、抽出

アクセシビリティ - アクセシビリティ機能の利用

注意

暗号化レベルで [40-bit RC4] を選択した場合、[内容の抽出] と [アクセシビリティ] は、連動して設定されます。[内容の抽出] 操作を許可にすると [アクセシビリティ] 機能の利用も許可になり、[内容の抽出] 操作を制限すると [アクセシビリティ] 機能の利用も制限されます。[アクセシビリティ] 機能を実行した場合も同様に [内容の抽出] が連動して設定されます。

• OCR言語

[ファイル形式] で選択するOCR読み取りファイルフォーマットに対して、OCR第1言語とOCR第2言語を選択します。[>] を押すと選択画面が開きますので、以下の言語から選択して [OK] を押します。[キャンセル] を押すと、設定変更を中止します。

なし*、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、デンマーク語、フィンランド語、ノルウェー語、スウェーデン語、オランダ語、ポーランド語、ロシア語、日本語、中国語（簡体字）、中国語（繁体字）、ポルトガル語（ブラジル）、ポルトガル語（ヨーロッパ）、トルコ語

* [なし] はOCR第2言語で選択できます。


注意

- [OCR言語] 画面に何も表示されない場合は、OCR読み取りファイルフォーマットに対応したファイル形式が選択されているか [ファイル形式] を確認してください。
- 文字をOCR機能で読み取るには、OCRオプションが必要です。OCRオプションについての説明は、[スキャンガイド/スキャン](#)を参照してください。

• 白紙ページ除去

保存するファイルからスキャンした白紙ページを除去する場合は、[ON] を選択します。

■ アプリケーションを終了する

操作パネルの  ([ホーム] ボタン) を押すか、[Exchange Online] 画面で右上の [X] ボタンを押します。このアプリケーションが終了して [ホーム] 画面を表示します。

困ったときは

TopAccessのアプリケーションログに、操作状況が記録されます。困ったときは、ログと以下の説明を参考にトラブルを解消してください。ユーザーがトラブルの状況や対処方法が分からない場合は、管理者にご相談ください。

メッセージ	トラブルの状況と対処方法
アプリケーションエラーが発生しました。	下記以外のエラーが発生しました。 本機を再起動してください。再起動しても解決しない場合は、管理者にご相談いただくか、サービスエンジニアまたは弊社販売店にお問い合わせください。
クラウドとの接続に失敗しました。 アプリケーションは終了します。	LANケーブルの外れや接続遮断などのネットワークエラーが発生しているため、Exchange Onlineへ接続できません。 管理者にお問い合わせください。
ログインに失敗しました。 アプリケーションは終了します。	クラウドサービスのサインインに失敗した、またはクラウド接続中にネットワークタイムアウトが発生しました。 クラウドサービスへサインインしなおしてください。
PINが無効、またはログインが完了していません。Eメールを確認してください。 PINが有効な時間は1時間です。	入力されたPINコードが無効、またはクラウドサービスへのサインインが完了していません。アプリケーションは終了します。 Eメールに記載されたPINコードを再度ご確認ください。Eメールが送信されてから1時間以内に入力してください。 また、PINコードを正しく入力してもこのメッセージが表示される場合は、クラウドサービスに正しくサインインできていない可能性があります。Eメールに記載されたURLからサインインしなおしてください。
ただいまたいへん混雑しています。 しばらく経ってからお試しください。	クラウドサービスへの同時アクセス数が上限を超えました。アプリケーションは終了します。 しばらく時間を空けてから、操作しなおしてください。
確認中にタイムアウトが発生しました	e-BRIDGE Cloud Loginに正しく接続できていない可能性があります。(このメッセージは、クラウドサービスにサインインする際に、ご利用の端末に表示されます。) 管理者にお問い合わせください。
ご利用のデバイスでログインの確認ができません。MFPのパネルで確認してください。	ご利用のブラウザの設定で、JavaScriptが無効になっている可能性があります。(このメッセージは、クラウドサービスにサインインする際に、ご利用の端末に表示されます。) JavaScript設定を有効にしてください。JavaScriptを有効にする手順については、お使いの端末やブラウザの取扱説明書やヘルプを参照してください。 ブラウザのJavaScript設定を有効にできない場合で、ブラウザが許可サイトをサポートしている場合は、許可サイトにお使いのクラウドサービスのURLを登録してください。 なお、このメッセージが表示されても、操作パネルにこのアプリケーションのリスト画面が表示されている場合は、ログインに成功していますので、そのままご利用ください。
ネットワークエラーが発生しました。	以下の可能性がありますので、それぞれ確認して対処してください。 <ul style="list-style-type: none"> LANケーブルの外れや接続遮断などのネットワークエラーが発生しているため、Exchange Onlineへ接続できません。管理者にお問い合わせください。 クラウドストレージに空き容量がありません。クラウドストレージ上のファイル数を減らしてから、スキャンしなおしてください。問題が解決しない場合は、管理者にご相談ください。
接続タイムアウトが発生しました。	クラウド接続中にネットワークタイムアウトが発生しました。 Exchange Onlineへサインインしなおしてください。

メッセージ	トラブルの状況と対処方法
クラウドストレージが停止しています。	クラウドサービスが停止しています。 Exchange Onlineが稼働しているか確認してください。
認可に失敗しました。 (*HTTP_STATUS*)	このアプリケーションの認可が取り消されました。 再認可が必要です。管理者にご相談いただくか、サービスエンジニアまたは弊社販売店にお問い合わせください。
スキャンの上限枚数に達しました。	ユーザーがスキャンできる割り当てがなくなりましたので、スキャンできません。 割り当てを初期化するか、割り当て設定を変更するように、管理者に依頼してください。
受信したセキュリティ証明書は信頼できません。	クラウドサービスから提示された証明書が信頼できません。 管理者にご相談いただくか、サービスエンジニアまたは弊社販売店にお問い合わせください。
復旧処理を実行しました。	本機の電源を切ったなどの理由で、このアプリケーションが正常に終了しませんでした。 このアプリケーションの再起動を管理者に依頼してください。
内蔵ストレージに空き容量がありません。	ファイルを保存する本機の内蔵ストレージに空き容量がありません。 管理者にご相談ください。
ファイルサイズがオーバーしています。	添付ファイル1つあたりのサイズが大きいため、送信に失敗しました。 一度にスキャンするページ数を減らしたり、[スキャン設定]画面の設定を見直してからスキャンしてください。
メールサイズの上限をオーバーしました。	1つのメールの最大サイズを超えた状態で送信または下書き保存しました。 メールに添付するファイルのサイズを小さくしたり、添付ファイル数を少なくしてください。
まもなくお試し期間が終了します。残り日数：XX	このアプリケーションのお試し使用期限が残りわずかです（Xには残りの日数を表示します）。 試用期限が切れるとこのアプリケーションは使用できません。 このアプリケーションを使い続けるには、ライセンスを有効化するよう管理者に依頼してください。
バックグラウンドアプリケーションが起動していません。	このアプリケーションが停止している状態で、操作パネルを操作したときにこのメッセージが表示されます。 バックグラウンドアプリケーションの起動を管理者に依頼してください。
スキャン（共有フォルダへの保存）の実行権限がない、またはこの機能が無効です。	原稿をスキャンして共有フォルダへ保存するための実行権限がないか、またはこの機能が無効です。 原稿をスキャンして共有フォルダへ保存するための実行権限を保有するか、この機能を有効にしてください。不明な場合は、管理者にお問い合わせください。
バックグラウンドアプリが停止したため、すべてのジョブがキャンセルされました。	ジョブを処理中にこのアプリケーションまたは本機が停止したため、完了できなかったジョブは破棄されました。 このアプリケーションを再起動するか、本機の電源を入れなおしてから、操作を再度実行して完了してください。処理が終了するまで、このアプリケーションを終了させたり、本機の電源を切ったりしないでください。
—	サービスにサインインできない場合は、操作パネルの画面にメッセージが表示されます。 サービスの管理画面でサードパーティー製アプリケーションとの関係を有効にするよう、管理者に依頼してください。

東芝デジタル複合機
e-BRIDGE Plus for Exchange Online 取扱説明書

東芝テック株式会社

